



東京YMCA 東日本大震災復興支援活動

2012年4月～9月

子ども支援(学習支援・遊び場・居場所づくり)

震災による学校・公共施設の破損や敷地内の仮設住宅建設により、子ども達の遊び場が奪われていきました。

YMCAではボランティアを地域の学校や仮設住宅へ派遣し、子どもと一緒に思いっきり遊び学べる環境を整えています。

夏休みは、近所の商店街やYMCAセンターで学習支援・遊び広場、近隣小学校のプール指導や地域の祭りでの子ども遊び広場を実施し大好評でした。

遊び場や学習環境が不足する被災地の子どもに、ボランティアが全力で関わることで、子どもたちの震災の経験を緩和し、健全・健康に育っていくことを願って活動しています。



定例の女川町仮設住宅子ども遊び場(5月)
幼児も一緒に色々な遊びにチャレンジ



小学校学童にて子ども遊び場支援(9月)
校庭を使えない子どもたちと室内で。



夏休み子ども広場 巨大壁画作成(7月)
大きな絵で夏休みの思い出を表現



石巻市内仮設商店街で子ども学習支援(7月)
のべ200人の子どもが参加



石巻小学校 プール指導(8月)
のべ1200人以上の子どもが参加



YMCA石巻支援センターにてプログラム(8月)
勉強の時間の後、カップケーキ作りをしました

コミュニティー支援(仮設住宅・高齢者施設など)



仮設グループホームにて緑化ワーク(7月)
建物周辺に花壇とグリーンカーテンを設置



女川町内にて歌の広場(4月)
最後に皆で手をつなぎ「ふるさと」を歌う



石巻市内にて歌の広場(6月)
皆で声を出すことで、気持ちが楽に。

仮設住宅・施設でのレクリエーションを通して、住民の心身をサポートします。プログラムを行うこと自体が仮設住宅の住民コミュニティ形成の役割も果たします。

仮設住宅だけでなく、被災した高齢者施設でも継続して支援を行なっています。

ワークキャンプ(ヘドロ除去・補修作業)

ヘドロ除去、家宅清掃を、ニーズに合わせて継続中です。

また、地盤沈下により大雨が降ると冠水する地域の緊急清掃ワークや、破損し使用が危険になった学校設備の大掛かりな補修ワークも行いました。



工場排水口内のヘドロ除去(7月)
未だ手付かずの細かいニーズに対応



台風で冠水した商店の水出し(5月)
当日朝に受けたボランティア要請に対応



万石浦小学校プールの補修ワーク(7月)
地盤沈下による凹凸の危険箇所を補修

リフレッシュキャンプ継続中 (福島県内被災者に対する短期保養キャンプ)

昨夏より、三菱商事株式会社の協賛によってリフレッシュキャンプを実施、現在も継続していますが、今夏新たにシティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社の協賛により8月31日から9月2日にかけて東京YMCA山中湖センターで実施することができました。時折雨が降る天候でしたが、「福島では晴れていても外で十分遊べないので、雨でもできるだけ遊ばせてください」というお母さんの声が日常のご苦勞を表しているようでした。日本基督教団との協働リフレッシュキャンプ「こひつじキャンプ」も継続して実施中です。





東京YMCA 東日本大震災復興支援募金 ご協力をお願い

—未曾有の困難に、祈りをもって立ち向かう—

東京YMCAでは震災発生以降、全国YMCAのネットワークのもと、被災された方々の声に耳を傾けつつ、私たちができることに全力を挙げて取り組んでまいりました。東京YMCAの支援活動にたくさんの方々がご賛同下さいましたこと、心から感謝を申し上げます。震災発生から1年半が経つ今もなお、困難な状況に置かれている方々がたくさんいらっしゃいます。これまで行ってきた支援活動の中でも特に「YMCA歌の広場（石巻市・女川町）」「子ども支援プログラム（石巻市・女川町）」「福島県内被災者のためのリフレッシュキャンプ（山中湖・妙高高原）」等はYMCAがボランティアの方々とともに永年にわたって培ってきた活動を活かした独自の支援として高い評価を得て継続しております。東京YMCAは今後も中長期にわたり継続した支援活動を行っていく決意のもと、皆様に重ねてのご支援をお願いする次第です。一日も早い被災地の復興のため、皆様の尊いご支援とご協力をお願い申し上げます。

公益財団法人 東京 YMCA
代表理事・総主事

廣田光司

＜テラー基金YMCA国際交流プログラム＞
7名の中学生を米国に派遣（石巻）

7/30-8/7 の日程で、石巻市内の3つの中学校から 7 名の生徒がYMCA スタッフとともに渡米し、首都ワシントン DC とテラーさんの出身地であるバージニア州リッチモンド市を訪問しました。ワシントン DC では藤崎一郎駐米日本大使を表敬訪問し、また米国国務省高官との意見交換を行いました。リッチモンド市ではテラーさんが通われていた高校（セントキャサリン高校）でよさこいソーラン節を披露し、中学生たちが懸命に踊る姿に大きな拍手が送られました。現地では NHK や現地ローカル局の取材を受け日米両国のニュース番組でプログラムの様子が放映されました。本プログラムは仙台 YMCA と東京 YMCA がテラーさんのご両親とともに企画し、リッチモンド YMCA ならびに、日米両政府と民間組織による TOMODACHI イニシアティブの協力のもと実施されました。資金は全米でテラーさんを偲んで集められた寄付「テラー基金」と「YMCA 東日本大震災復興支援募金」から拠出されました。



左： テラーさんのお父様、
アンディーさんと参加者
左下：藤崎駐米大使を表敬訪問
下： 参加中学生たち



2012 年度 東京YMCA 東日本大震災復興支援活動計画

募金目標額 1,500 万円

内訳

- 子ども支援（福島の子どもキャンプ、キッズスカラーシップ、石巻でのプログラム、国際交流プログラムなど） 700 万円
- ワークキャンプ 340 万円
- 高齢者支援（仮設住宅での歌の広場など） 60 万円
- YMCA石巻支援センター 拠点運営経費（家賃、光熱水費、車両維持費、派遣費を含む） 400 万円

【募金方法】

- 東京 YMCA 窓口への持参
- ゆうちょ銀行への振込み（郵便振替）
振替口座：00120-7-714728 公益財団法人東京ワイエムシイエイ 東京 YMCA 会員事務局
- 銀行振り込み
振込先口座 ①みずほ銀行 神田支店 普通 1677931
②三井住友銀行 神田支店 普通 7656469
名義（①②共通） 公益財団法人東京ワイエムシイエイ
- 現金書留での送付
下記会員事務局へご送付の上、念のため送付のお知らせをいただけますと幸いです。

★「東日本大震災」とお書き添えください。領収書が必要な方は下記までご連絡下さい。
★公益財団法人東京YMCAへのご寄付は寄付金控除（税額控除・所得控除）の対象となります（確定申告が必要です）。

公益財団法人東京 YMCA 会員事務局

住所：135-0016 東京都江東区東陽 2-2-20

TEL03-3615-5568 FAX03-3615-5578 E-mail: kaiin@tokyo.ymca.or.jp